

知の構築技法

責任者名：田村 宗明(感染症免疫学 准教授)

学期：前期

対象学年：2年

授業形式等：演習

◆担当教員

田村 宗明(感染症免疫学 准教授)

田邊 奈津子(生化学 准教授)

湯口 眞紀(解剖学Ⅱ 助手)

福井 怜(病理学 助教)

坪井 美行(生理学 専任講師)

小林 真之(薬理学 教授)

武市 収(歯科保存学Ⅱ 教授)

菅野 直之(歯科保存学Ⅲ 准教授)

◆一般目標 (GIO)

理解すべき知識をノートテイキングによって自ら収集し、整理・体系化できるようになるために、トレーニング的に何度も反復することで、“技法(わざ)”を身につける。

◆到達目標 (SBOs)

- ・理解すべき知識を自ら収集することができる。
- ・整理・体系化したノートテイキングができる。

◆評価方法

定期試験は行わない。提出物を基礎データとして、成績評価表示 S, A, B, C による相対評価を行う。参考になるノートテイキングは授業内で提示して参考にしてもらう。前半6項目は各々10%、後半2項目はそれぞれ20%の比率で評価します。なお各項目ごとに2回目の授業の時に模範となるノートの紹介など、学修方法のフィードバックがなされます。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
田村 宗明	月曜日 17:00~19:00 場所：本館 6F 感染症免疫学講座	tamura.muneaki@nihon-u.ac.jp	
田邊 奈津子	月-金曜日 12:00~13:00 場所：本館 6F 生化学講座	tanabe.natsuko@nihon-u.ac.jp	
湯口 眞紀	金曜日 12:00~13:00 場所：本館 5F 解剖学第Ⅱ講座	yuguchi.maki@nihon-u.ac.jp	
福井 怜	木曜日 17:00~18:00	tooyama.rei@nihon-u.ac.jp	

	場所：本館 6F 病理学講座		
坪井 美行	水曜日 17:00~18:00 場所：本館 7F 生理学講座	tsuboi.yoshiyuki@nihon-u.ac.jp	
小林 真之	金曜日 17:00~18:00 場所：本館 7F 薬理学教授室	kobayashi.masayuki@nihon-u.ac.jp	
武市 収	月曜日 17:00~18:00 場所：本館 6階 保存学第II講座教授室	takeichi.osamu@nihon-u.ac.jp	
菅野 直之	月曜日 17:00~18:00 場所：本館 6階 保存学第III講座医局	sugano.naoyuki@nihon-u.ac.jp	

◆授業の方法

【スキルアップ <2回~13回>】

この演習ではスキルアップ・トレーニングを都合6セット実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、2週で2件の提出物 CKG が生じる(6セットでは合計 12 件)。ただし、担当者によっては授業方法ならびに評価方法が異なる場合があるため、メールならびに classroom を随時確認しておくこと。

[第1週]

- ① 担当者による“教材としての講義”(50分前後)
- ② 学生は、配付される所定のノートテイク用紙 [CKG-1] に聴講内容を記録
- ③ 聴講後、取ったノートを学生間で交換し、記載内容について互いにチェックし、改良点を列挙(今年度は実施しない場合があります)
- ④ 学生によるアドバイスを元に、自分で改良点を記載(今年度は実施しない場合があります)
- ⑤ 担当者は、CKG-1 を学生に提出させて次週までに精査

[第2週]

- ⑥ 第1週に提出されたノートの中で参考となるもの (Selected CKG-1) を、学生全員に電子配信
- ⑦ 学生が取ったノート CKG-1 を返却。精査した結果については担当者が学生に総合講評。また、学生同士で評価し合うグループワークを実施する。(今年度は実施しない場合があります)
- ⑧ 学生は、Selected CKG-1 をもとに、課題(テスト)に取り組んで解答 [CKG-2]
- ⑨ 担当者は、第2週の CKG-2 を学生に提出させて後日採点

【講演演習 <14回、15回>】

この演習では講演の聴講を2度実施するが、その各々は、原則として次のような手順で進められ、1講演につき、「学生が取ったノート、聴講サマリー」という2件の提出物、すなわち CKG-3,4 が生じる(2講演で合計4件)。

- ① 講演内容をノートテイク [CKG-3]
- ② 学生と演者での質疑応答
- ③ 学生は、講演内容について聴講サマリー [CKG-4] をまとめる(40分前後)。
- ④ 担当者(&演者)は、CKG-3 と CKG-4 を学生に提出させて後日採点

◆アクティブ・ラーニング

学生に自ら知識を収集して理解し、その内容をまとめさせることによって個々の学修能力を向上させるとともに、オリジナルノートの作成法およびグループワークを習得する。

◆教材（教科書、参考図書、プリント等）

教科書： 指定しない。本教科の趣旨にもとづいて、プリント配付も最小限に留める。

参考書： 指定しない。更なる学習のために担当者が授業時に紹介することがある。

◆DP・CP

コンピデンス2：グローバルマインド

コンピデンシー：2-1

対応するディプロマ・ポリシー：DP2

コンピデンス3：リサーチマインド

コンピデンシー：3-1, 3-2, 3-3, 3-4

対応するディプロマ・ポリシー：DP3

◆準備学習(予習・復習)

学生間での指摘事項について確認する時間や自身のノートテイキング自己評価により改善点を見出す。また、オリジナルノートの作成法を習得する。

◆準備学習時間

1項目につき1時間程度の時間を作ること。

◆全学年を通しての関連教科

全ての授業に関連する。

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1		4.6	5 ～ 6	ガイダンス 教材講義のテーマ： 本講のシステムとねらい	種々あるノートテイキングの方法を理解する。	田村 宗明	A-2-1) 課題探求・解決能力
2		4.13	5 ～ 6	スキルアップ I 第1週 教材講義のテーマ： 感染症と炎症 - 病原微生物と免疫	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	田村 宗明	A-2-1) 課題探求・解決能力

				機構ー			
3		4.20	5 ～ 6	スキルアップⅠ 第2週 教材講義のテーマ： 感染症と炎症ー 病原微生物と免疫 機構ー	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って解くことが出来る。	田村 宗明	A-2-1) 課題探求・解決能力
4		4.27	5 ～ 6	スキルアップⅡ 第1週 教材講義のテーマ： ケミカルメディエーター	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	田邊 奈津子	A-2-1) 課題探求・解決能力
5		5.11	5 ～ 6	スキルアップⅡ 第2週 教材講義のテーマ： ケミカルメディエーター	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って解くことが出来る。	田邊 奈津子	A-2-1) 課題探求・解決能力
6		5.25	5 ～ 6	スキルアップⅢ 第1週 教材講義のテーマ： 炎症に関する細胞とその位置づけ	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	湯口 眞紀	A-2-1) 課題探求・解決能力
7		6.1	5 ～ 6	スキルアップⅢ 第2週 教材講義のテーマ： 炎症に関する細胞とその位置づけ	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って解くことが出来る。	湯口 眞紀	A-2-1) 課題探求・解決能力
8		6.8	5 ～ 6	スキルアップⅣ 第1週 教材講義のテーマ： 炎症の形態学的分	授業後の学習に有効なノートテイキングが出来る。	福井 怜	A-2-1) 課題探求・解決能力

				類とその特徴			
9		6.15	5 ～ 6	スキルアップⅣ 第2週 教材講義のテーマ： 炎症の形態学的分類とその特徴	前週のノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って解くことが出来る。	福井 怜	A-2-1) 課題探求・解決能力
10		6.22	5 ～ 6	スキルアップⅤ 第1週 教材講義のテーマ： 痛みの発生機構と炎症	授業後の学習に有効なノートテイキングができる。	坪井 美行	A-2-1) 課題探求・解決能力
11		6.29	5 ～ 6	スキルアップⅤ 第2週 教材講義のテーマ： 痛みの発生機構と炎症	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って解くことが出来る。	坪井 美行	A-2-1) 課題探求・解決能力
12		7.6	5 ～ 6	スキルアップⅥ 第1週 教材講義のテーマ： 抗炎症薬	授業後の学習に有効なノートテイキングができる。	小林 真之	A-2-1) 課題探求・解決能力
13		7.13	5 ～ 6	スキルアップⅥ 第2週 教材講義のテーマ： 抗炎症薬 *土曜日 11時～ 11時50分,12時～ 12時50分	参考になるノートテイキングを参考にして改善点を見つけより有効なノートテイキングが出来る。 教材講義内容課題を自身のノートを使って解くことが出来る。	小林 真之	A-2-1) 課題探求・解決能力
14		7.20	5 ～ 6	講演聴講 Ⅶ 講演テーマ： 歯髄炎と根尖性歯周炎の病因と治療	歯科臨床についての講演を聞き、講演後演者への質問を行うための有効なノートテイキングが出来る。	武市 収	A-2-1) 課題探求・解決能力

15		7.25	5 ～ 6	火曜日講義 講演聴講 VIII 講演テーマ： 歯周病と全身の健康	講演後、演者への質問を行うための 有効なノートテイキングが出来る。	菅野 直之	A-2-1) 課題探 求・解決能力
----	--	------	-------------	---	--------------------------------------	-------	----------------------

